

5 指導と評価の計画 1

過程	ねらい 主な学習活動	時間	学習への支援	評価基準		
				国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
見通し1 発想や認識をもつ学習活動A	意見の根拠である「意見を裏付ける事実」と「意見を支える立場」について考え、環境問題について自分の意見をもつ。 意見文の具体例を読み、学習プリント「意見とその拠りどころとなる2種類の根拠・その一」「同・その二」に、具体例の意見とその2種類の根拠について書く。 立場という言葉について考えを深める。 学習プリント「課題について自分の意見をもつ」に、食べ物を残すことから考えた環境問題についての意見を書き、その2種類の根拠について考える。	1・5	説得力のある意見は、「意見を裏付ける事実」と「意見を支える立場」の2種類の根拠を拠りどころとすることについて黒板の掲示物から考えさせる。 学習プリントについて説明して、意見文の具体例の意見と事実と立場を書くよう促す。 立場という言葉を深く理解するためのキーワードを考えさせる。 学習プリントの意見は、自分で一番大切だと考えることとし、事実と立場についてもなるべく書くように促す。 学習プリントに自分の考えを書けない生徒に具体的な助言をする。	食べ物を残すことから考え始めて、環境問題について自分の意見をもち、その根拠としての事実と立場について考えている。(観察・学習プリントの分析) 根拠としての事実と立場を踏まえて、自分の意見をもつとしている。 意見文の具体例について考えたり、食べ物を残すことについての体験を想起して環境問題について考えたりできるように、アドバイスする。	食べ物を残すことから考え始めて、環境問題についての自分の意見をもち、それを書いている。(学習プリントの分析) 根拠としての事実と立場を踏まえて、自分の意見を書いている。 意見文の具体例について考えたことを書いたり、食べ物を残すことについての体験に基づいて環境問題について書いたりできるようにアドバイスする。	立場の意味を国語辞典を調べ、立場という言葉を理解するためのキーワードを考えて書いている。(学習プリントの分析) 立場という言葉により深く理解するためのキーワードを考えて書いている。 国語辞典の使い方が分かるようアドバイスする。
見通し2 発想や認識をもつ学習活動B	環境問題について考えを広げたり深めたりする。 環境問題についてのビデオ映像による学習資料及び(コンビニ店長の「説得力のある意見」と有機農業実践者による「同・」)を見て、自分の考えを広げたり深めたりしながら、学習プリント「身近な話題から、『食べること』について考えてみよう」と学習プリント「環境問題について、他者の意見を聞いて自分の考えを深めよう」に取り組み。 学習プリントの取組では、グループでの話し合い活動を行い、意見交流を通して、さらに自分の考えを広げたり深めたりする。	1・5	学習プリントを配布し学習資料及びを提示する。 コンビニのキーワードは、「便利さ」、有機農業のそれは、「もったいない」であることについて考えさせる。 話し合いの手引を配布して、「説得力のある意見」及び「同・」についての話し合いは、一人一人が自分の考えを発表しながら、それについての司会もする、という方法を説明する。 話し合い活動が円滑に進行しない班にアドバイスする。 プリントに自分の考えを書けない生徒に具体的な助言をする。	「説得力のある意見」及び「同」についての話し合い活動で、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞こうとしていたりしている。(学習プリントの分析・観察) 自分の考えと友達の考えを比較して、より深めた考えを発表しようとしている。 学習プリントに書いた内容や、友達の考えの良いところを指摘し、自分の考えを発表したり、友達の意見を聞けたりするようにアドバイスする。	「説得力のある意見」及び「同」のそれぞれの意見と、その根拠となる事実と立場について考えたことや、話し合っただけで分かったことを書いている。(学習プリントの分析) 自分の意見や、その根拠としての事実と立場と比較しながら書いている。 「説得力のある意見」及び「同」の重要な内容について考えられるようにアドバイスする。	「説得力のある意見」及び「同」についての自分の考えを、他者の意見の中心となるキーワードを用いて書いている。(学習プリントの分析) 2つのキーワードの関係性を明確にするために接続語や指示語などを用いて書いている。 「説得力のある意見」及び「同」の中心となるキーワードについてアドバイスする。
見通し3 事柄や意見を考える学習活動	環境問題について、読み手が納得できるような根拠を考えて、説得力のある自分の意見をもつ。 学習資料「これまでの学習を振り返るヒント」(ビデオ映像)を見て、これまでの学習活動や環境問題にかかわる自分の体験を振り返って、読み手が納得できる根拠としての「意見を裏付ける事実」と「意見を支える立場」について考えを深め、学習プリント「課題について、より深めた意見をもつ」に取り組み。	0・5	学習資料「これまでの学習を振り返るヒント」(他業種における「もったいない」という考えの実践)を提示して、有機農業との関連を考えることで、環境問題についての考えを深めさせる。 意見、事実と立場などが書けた生徒同士で、互いのプリントを読み合い、納得できる根拠かどうか、意見交換を促す。 学習プリントに自分の考えを書けない生徒に具体的にアドバイスする。	「これまでの学習を振り返るヒント」から、自分の考えを、さらに深めようとしている。(学習プリントの分析・観察) 自分で見つけた資料から、自分の考えを深めようとしている。 自分の考えの深まりに気付くようアドバイスする。	「これまでの学習を振り返るヒント」から自分の考えを振り返り、読み手が納得できるような根拠を考えて、説得力のある意見を書いている。(学習プリントの分析) 自分で見つけた資料の中から、自分の意見の根拠となる事実を選んで書いている。 自分の考えの深まりに気づき、意見と、その根拠である事実と立場などが書けるように、具体的にアドバイスする。	「これまでの学習を振り返るヒント」の考えの中心となるキーワードや自分の考えの中心となるキーワードを用いてより深めた自分の意見を書いている。(学習プリントの分析) 複数のキーワードの関係性を明確にするために接続語や指示語などを用いて書いている。 自分の考えのキーワードについて、アドバイスする。

は、おおむね満足できる状況・態度

は、十分満足できる状況・態度

は、努力を要する状況への方策

指導と評価の計画 2

過程	ねらい 主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準		
				国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
事後 選材に取り組み学習活動	自分の意見を裏付ける資料を探して、自分の考えをより確かなものにする。 図書室やパソコン室で資料を探したり、友達と相談した結果、分かった「事実」を学習ノートに記録する。	0・5	学校の図書室やパソコン教室の利用、または、家庭等で、自分の「意見」を裏付ける事実を調べるための自主的な学習を促す。 図書室の司書教諭と連携し資料を見付けられない生徒を支援したり、パソコンの使い方が分からない生徒に支援したりする。	図書室やパソコン教室で、自分の意見を裏付ける事実が分かる資料を探そうとしている。(観察・学習ノートの分析) 休み時間や家庭等で自主的に調べようとしている。 新しい資料を探せるようにアドバイスする。	自分で見つけた資料の中から自分の意見の裏付けになる部分を見つけて書き出している。(学習ノートの分析) 自分とは異なる意見の裏付けになるような資料も参考にして文章の論理性を考えている。 自分の意見と資料の共通する部分を具体的に示す。	資料についての重要語句などの必要なことをメモしている(学習ノートの分析) 重要語句をつなげる接続語などを用いながら内容を関連づけてメモを取っている。 資料の重要語句を確認させる。
事後 構成と記述に取り組み学習活動	学習プリント「自分が書く文章の構成や材料の配列などについて考えよう」に取り組み、論理的な展開を考える。 自分の書く文章に合った構成や材料の配列などについて考えて、学習プリントに取り組み。 意見を書く内容となっている。本論の各段落と結論の始めには、接続語や指示語などを考えて書くようになっており、その語の働きによっては三部構成が起承転結などの四部構成になることもあるため、個別に支援する必要がある。	1	構成や記述についての学習の手引きを配布し、国語便覧と併せて説明する。 「構成を考える手引き」では、序論・本論・結論の3部構成を基本とするものであり、序論には、問題提起と自分が書く文章を読んでほしい「相手」を、本論には、事実と立場を、結論には、本論の各段落と結論の始めに、接続語や指示語などを考えて書くようになっており、その語の働きによっては三部構成が起承転結などの四部構成になることもあるため、個別に支援する必要がある。	学習の手引きや国語便覧を活用して、自分の書こうとしている文章の構成や材料の配列を考えようとしている。(観察・学習プリント) 論理的で、より効果的な構成等を考えようとしている。 国語便覧の内容が理解しやすくなるようにアドバイスする。	文章の構成や材料の配列などを考えて書いている。(学習プリントの分析) 論理的で、より効果的な構想や材料の配列について考えて書いている。 自分の意見を表現するのにふさわしい構成や材料の配列の具体例を示す。	主に段落の始まりで、論理的な構成に必要な接続語や指示語などを用いている。(学習プリントの分析) 論理的な構成をより明確にするために接続語や指示語などを用いている。 論理的な構成に必要な接続語や指示語などの具体例を示す。
事後 記述・推敲に取り組み学習活動事後	前時に続いて、記述の学習活動に取り組み、自分の考えを文章にまとめる。 これまでの学習を振り返りながら、学習プリント「下書きをしよう」に取り組み。 自分の書いた文章を推敲して、自分の考えを文章で表現できているか、確認する。 記述の学習活動ができた生徒から、推敲に取り組み。 推敲するときには推敲についての学習の手引き(記述についての学習の手引きと同じもの)や国語便覧を活用する。	1	学習の手引きや国語便覧をうまく活用できない生徒にアドバイスする。 記述が上手くできない生徒にアドバイスする。 自分の意見を上手く書けた生徒の文章を随時紹介し、記述や推敲をする際の参考とさせる。 記述ができた生徒から、推敲に取り組みよう話す。その際、記述についての学習の手引きと国語便覧を活用しよう話す。 推敲するときには、学習の手引きや国語便覧を活用する。 学習プリント「友達からメッセージをもらおう」と評価・批評についての学習の手引きを配布し、グループ内で互いに学習プリントの下書きを読み合い、メッセージを伝え合う学習について、説明する。	自分の意見を文章に書いている。(観察) 自分の意見を文章に書き、国語便覧を参考に推敲しようとしている。 学習プリントの内容の重要な箇所を褒め文章を書いたり推敲したりできるようアドバイスする。	論理的な文章を書くためにふさわしい表現を考えて書いている。(学習プリントの分析) 論理的でより効果的な表現を考え文章を書いたり推敲したりしている。 学習プリントの内容の中心になる部分を文章にするために必要な表現の具体例を示す。	自分の意見を表現するのに必要な論理的な言葉遣いを考えている。(学習プリントの分析) 論理的でより効果的な言葉遣いを考えている。 適切な言葉遣いの具体例を示す。
事後 推敲と評価・批評に取り組み学習活動	学習プリント「友達からメッセージをもらおう」と評価・批評についての学習の手引きを用いて、学習プリントの下書きを生徒同士で評価・批評し合い、友達の意見や根拠について考える。 学習プリント「清書をしよう」に取り組み、清書する。	1	友達へのメッセージの書き方がよく分からない生徒や友達からもらったメッセージをどう取り入れたらよいのか、分からない生徒にアドバイスする。 学習プリント「清書をしよう」に上手に取り組みない生徒にアドバイスする。	友達のアドバイスを理解して、さらに推敲を重ねようとしている。(学習プリントの分析・観察) 友達のアドバイスを生かすために、自分から進んで友達に質問しようとしている。 友達のアドバイスをどう生かしたらよいか、アドバイスする。	友達のアドバイスを理解して、さらに推敲を重ねている。(学習プリントの分析) 友達のアドバイスを基に、より効果的な表現を考え、自分の文章を推敲している。 友達からのアドバイスの内容を分かりやすく説明したり、便覧や「推敲の手引き」と照らし合わせて推敲が必要な部分を具体的に示す。	自分の意見を表現するための適切な語句を考えて推敲している。(学習プリントの分析) より効果的な表現のために適切な語句を選んで推敲している。 推敲に必要な語句の具体例を示す。

はおおむね満足できる状況・態度

は、十分満足できる状況・態度

は、努力を要する状況への方策